

令和8年度 遠野市立鱒沢小学校働き方改革アクションプラン

遠野市立鱒沢小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

- ◆教職員が、自分の働き方を見直し、改善に取り組んでいる。
- ◆職員同士のコミュニケーションを大切に、協力しながら業務に取り組んでいる。
- ◆勤務時間内に仕事を終了し、定時で帰宅できることの多い職場にする。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校時間の削減

- ◆定期的に時間外在校等時間の状況を共有し、職場全体で改善の意識化を図る。
- ◆各自に時間外在校時間を知らせることにより、働き方改革への意識を高める。

取組② 定時退庁の推進

- ◆管理職が定時退庁の声かけを行ったり、自ら定時退庁に努めたりすることにより、全職員が帰宅しやすい雰囲気を作る。
- ◆「ノー残業デー」の取り組みを継続する。月3回以上各自設定して取り組む。

取組③ 業務改善の推進

- ◆提案資料を精選し、会議時間の削減を図る。
- ◆会議資料を事前配布し、提案の簡素化を図ることにより、勤務時間内に終わるようにする。
- ◆業務内容に優先順位をつけ、見通しをもって仕事をする。提出物等は、できるだけ早めに通告し、余裕をもって業務を行う。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	時間外在校等時間月45時間以上の職員が2人いる。	時間外在校等時間が月45時間以上の職員0人の月を増やす。	① ②
目標②	「ノー残業デー」の取り組みは十分に定着してきてはいるが十分ではない。	教職員全員が月に3回以上、17時30分までに退庁。	① ②
目標③	1時間30分を超える時間の会議が、年間で3回あった。	会議の実施時間を1時間10分以内にする。(4月、7月、12月を除く)	③